

令和2年度10月期

筑波大学大学院 人間総合科学研究科

博士前期課程 教育学専攻

入学試験問題

専門科目

【共通問題】

【7分野】

受験番号

保 存

令和2年度 筑波大学大学院
人間総合科学研究科 教育学専攻(博士前期課程)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目（共通問題）受験上の注意：

- (1) 全員が解答すること。
- (2) 解答は、別紙の清書用原稿用紙に記入すること。
(下書き用原稿用紙は下書きに利用する。)
- (3) 日本語で解答すること。
- (4) 用紙が不足する場合は、裏面を使用しても構わない。
但し、別の用紙を使用することは認めない。

専門科目（共通問題）

(配点 100 点)

問題

Society 5.0 は、第5期科学技術基本計画（平成 28 年 1 月 22 日閣議決定）で提唱された社会の姿であり、狩猟社会 (Society 1.0)、農耕社会 (Society 2.0)、工業社会 (Society 3.0)、情報社会 (Society 4.0) に続く、新たな社会を指すものである。この Society 5.0 という新たな社会の実現に向けて、現代の教育はどのような課題を解決することが求められているかを述べた上で、その課題解決に教育学研究がどのように貢献できるか論じなさい。

令和2年度 筑波大学大学院
人間総合科学研究科 教育学専攻(博士前期課程)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目(分野別)受験上の注意:

- (1) 全員が解答すること。
- (2) 解答は、別紙の解答用紙に記入すること。
- (3) 日本語で解答すること。
- (4) 用紙が不足する場合は、裏面を使用しても構わない。
但し、別の用紙を使用することは認めない。

専門科目 (教 育 哲 学 分野)

(配点 100 点)

次の教育哲学に関わる文章を読み、以下の問題に解答せよ。

(著作権法に基づき削除)

【出典】ネル・ノディングス著(宮寺晃夫監訳)『教育の哲学』世界思想社、2006年[一部改変]
下線は出題者による。

問題

- (1) 文章中の下線部に関して、20世紀の英米系の教育哲学において教育目的論はいかに展開したか、簡潔に述べなさい。(40点)
- (2) ①文章の著者であるネル・ノディングスの思想について簡潔にまとめなさい。(30点)
その上で、②ノディングスの思想が、教育に関わる現代的問題を考えていく上でどのような意義を有しているか、具体的に論じなさい。(30点)

※解答用紙には、解答に対応する問題番号を必ず明記すること。

令和2年度・筑波大学大学院
人間総合科学研究科 教育学専攻(博士前期課程)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目（分野別）受験上の注意：

- (1) 全員が解答すること。
- (2) 解答は、別紙の解答用紙に記入すること。
- (3) 日本語で解答すること。
- (4) 用紙が不足する場合は、裏面を使用しても構わない。
但し、別の用紙を使用することは認めない。

専門科目（ 生涯学習・社会教育学 分野）

（配点 100 点）

【問題】

中央教育審議会答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」（2018年12月21日）では、社会教育を基盤とした「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」が提起されています。

「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」のそれぞれについて、「人口減少時代」の社会教育に期待される役割とは何か、近年の政策動向を踏まえながらあなたの考えを述べなさい。

令和2年度 筑波大学大学院
人間総合科学研究科 教育学専攻(博士前期課程)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目(分野別)受験上の注意:

- (1) 全員が解答すること。
- (2) 解答は、別紙の解答用紙に記入すること。
- (3) 日本語で解答すること。
- (4) 用紙が不足する場合は、裏面を使用しても構わない。
但し、別の用紙を使用することは認めない。

専門科目 (社会科教育 分野)

(配点 100 点)

環境や貧困をめぐる課題など、現代社会には様々な社会的課題が存在する。近年の社会科(地理歴史科と公民科を含む)では、このような社会的課題を積極的に教材化して、公民としての資質・能力の育成を目指す授業づくりが主流となっている。

このような事実と関連して、次の三つの問いが考えられる。第一に、社会科授業で社会的課題を教材化することには、どのような意義があるのか。第二に、社会的課題を教材化するにあたり、留意すべきことは何か。そして、第三に、社会的課題を取り上げた授業では、どのような学習指導方法が有効であるか、また、なぜそう思うか。以上の三つの問いについて、あなたの考えを述べよ。

令和2年度 筑波大学大学院
人間総合科学研究科 教育学専攻(博士前期課程)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目（分野別）受験上の注意：

- (1) 全員が解答すること。
- (2) 解答は、別紙の解答用紙に記入すること。
- (3) 日本語で解答すること。
- (4) 用紙が不足する場合は、裏面を使用しても構わない。
但し、別の用紙を使用することは認めない。

専門科目（ キャリア教育学 分野）

（配点 100 点）

次の指摘は、2018（平成30）年3月に告示された「高等学校学習指導要領」の前文からの引用である。

生徒が学ぶことの意義を実感できる環境を整え、一人一人の資質・能力を伸ばせるようにしていくことは、教職員をはじめとする学校関係者はもとより、家庭や地域の人々も含め、様々な立場から生徒や学校に関わる全ての大人に期待される役割である。幼児期の教育及び義務教育の基礎の上に、高等学校卒業以降の教育や職業、生涯にわたる学習とのつながりを見通しながら、生徒の学習の在り方を展望していくために広く活用されるものとなることを期待して、ここに高等学校学習指導要領を定める。

この引用部分に示される高等学校学習指導要領の姿を具現化するために必要なキャリア教育の実践に在り方について、複数の論点・視点から具体的に整理して論じなさい。

令和2年度 筑波大学大学院
人間総合科学研究科 教育学専攻(博士前期課程)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目（分野別）受験上の注意：

- (1) 全員が解答すること。
- (2) 解答は、別紙の清書用原稿用紙に記入すること。
(下書き用原稿用紙は下書きに利用する。)
- (3) 日本語で解答すること。
- (4) 用紙が不足する場合は、裏面を使用しても構わない。
但し、別の用紙を使用することは認めない。

専門科目（ 教育臨床学 分野）

(配点 100 点)

「不登校」について、以下の問に答えよ。

- (1) 不登校の概念とその変遷について述べなさい。(30点)
- (2) 不登校の現状と予後について述べなさい。(30点)
- (3) 不登校児童生徒への支援・対策について述べなさい。(40点)

令和2年度 筑波大学大学院
人間総合科学研究科 教育学専攻(博士前期課程)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目(分野別)受験上の注意:

- (1) 全員が解答すること。
- (2) 解答は、別紙の解答用紙に記入すること。
- (3) 日本語で解答すること。
- (4) 用紙が不足する場合は、裏面を使用しても構わない。
但し、別の用紙を使用することは認めない。

専門科目 (道 徳 教 育 学 分野)

(配点 100 点)

問1. 次の2つの用語について説明しなさい。

- | | | |
|-----|----------|---------|
| (1) | 全面主義道徳教育 | (配点10点) |
| (2) | 期待される人間像 | (配点10点) |

問2. 「徳目主義」に基づく道徳教育の特徴とその問題点を書きなさい。 (配点30)

問3. 日本の公立小中学校における道徳教育の特質と課題を論じなさい。とくに特質の論述にあたっては、教科化によって従来と変わった点に触れながら書きなさい。
(配点50点)

令和2年度 筑波大学大学院
人間総合科学研究科 教育学専攻(博士前期課程)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目（分野別）受験上の注意：

- (1) 全員が解答すること。
- (2) 解答は、別紙の清書用原稿用紙に記入すること。
(下書き用原稿用紙は下書きに利用する。)
- (3) 日本語で解答すること。
- (4) 用紙が不足する場合は、裏面を使用しても構わない。
但し、別の用紙を使用することは認めない。

専門科目（ 特別活動学 分野）

(配点 100 点)

問1 教科外活動である特別活動の特質について、「教科」と比較しながら多角的に論じなさい。ただし、日本語で回答すること。(配点50点)

問2 以下の文章を踏まえた上で、キャリア教育の「要」としての特別活動の役割について、日本語で説明しなさい。(配点50点)

生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要としつつ各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。

出典：文部科学省『中学校学習指導要領』「第1章 総則」平成29年3月

【学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」の】指導に当たっては、学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を行うこと。その際、生徒が活動を記録し蓄積する教材等を活用すること。

出典：文部科学省『中学校学習指導要領』「第5章 特別活動」平成29年3月

※ 下線および【】内は出題者による。